



# こども・子育てマニフェスト



# 2016

さんいんせん      こうめいとう      やくそく  
**参院選にのぞむ公明党のお約束**

公明党参院選2016特設サイトから「こども・子育てマニフェスト」のリンクをたどってください。

[www.komei.or.jp/campaign/sanin2016/](http://www.komei.or.jp/campaign/sanin2016/)



こども・子育てマニフェスト

## もくじ

がっこうせいかつ  
**学校生活**

きょういく  
**教育**

いりょう  
**医療**

しゅつさん  
**出産・**  
こそだ しえん  
**子育て支援**

ちいき  
**地域・**  
しゃかい ぼうさい  
**社会・防災**

しごと けいざい  
**仕事・経済**

ちほうそうせい  
**地方創生**

がいこう た  
**外交・その他**



7月10日(日)、『参議院選挙』が行われます。

政府は、老後の暮らしや医療、子育てなどのために使う税金(消費税)を

来年の4月から10%に引き上げる予定でしたが、

2019年10月まで再び延期することを決めました。

国民一人ひとりから集める税金について大きな変更をするのですから、

国民の皆さんの同意をいただかなくてはなりません。

また、政府が今進めているアベノミクスという経済政策を

今後も進めるのかどうか、

今回の選挙はそれを皆さんに聞くための大事な選挙なのです。

この「子ども・子育てマニフェスト」は、

みなさんに公明党がお約束する政策をまとめた具体的な政策提言書です。

「日本がこういう国だといいのにな」と、みなさんが普段感じたり、

お話ししていることなどを思い出しながら、読んでみてください。



# 公明党こう めい とうって、せい とうどういう政党？



公明党こう めい とうは2016年ねんに結党けつ とう（政党せい とうをつくること）52年ねんを迎えます。国くにや民族みん ぞく

のちが違い、政治せい じに対する考え方たいの違いかんがによる対立かたを乗り越えて、“人間ちがが幸せたいりつにのこにん げんにしあわ

生きていくこと”という目的いに立ち返り、それを実現もくてきするために活動たしています。かえ じつ げん かつ とう

各地方かく ち ほうや地域ち い きに根ねを張って、そこで生活はする人たちせい かつ（生活者ひと）のための政治せい かつ しゃをせい じ

大切にたい せつしている政党せい とうです。また、憲法けん ぽうの大事だい じな3つの考え方かんが=憲法けん ぽうの三原理さん げん り

（国民主権こく 民 し ゅ けん、基本的人権き ほん て き じん けんの尊重そん ち ょ う、平和主義へい わ し ゅ ぎ）を尊重そん ち ょ うし、まもまもっていこうと考かんがえています。



# 学校がもっと好きになる、学校をもっと楽しくするために

## 学校生活

学校の教育は、みなさん一人ひとりの“幸福”のためにあるべきだと、公明党は考えます。だから、“いじめ”で悩む子どもがいなくなる、障がいのある子どもも障がいのない子どもも平等に学べる、そんな環境をつくっていきます。また、学校がみなさんにとって安心して過ごせる場所になるよう、校舎や通学路などの安全面もしっかりと整えていきます。

● 「いじめは絶対にいけないこと」「いじめる人が悪い」ということを、きちんと教えていきます。

● いじめや不登校などで悩む子どもたちが相談しやすい環境を整えていくため、学校で悩みごとを聞いてくれる専門の先生（スクールカウンセラー）を増やします。また、悩んでいる子どもに応じて家庭や学校、児童相談所などと連絡を取り合いながらサポートする専門家（スクールソーシャルワーカー）を必要とするすべての学校に置きます。

● 地域においてボランティアのお兄さんお姉さんなどが無料で勉強を教えてくれる「地域未来塾」を増やしたり、不登校の子どもたちが安心して学べるよう、フリースクールや夜間中学などニーズに応じて学びを応援してくれる場所を支援します。

● 子どもたちが抱える問題を、学校や地域、家庭が協力して解決する仕組みづくりを進め、地域で子どもを見守り育てる体制を強化します。

● みなさんが安心してインターネットを使えるようになるため、マナーやルール、適切な情報の見分け方などを学べるようにします。

● 障がいのある子どもなど、特別な支援が必要な子どものための特別支援学級や、そのための先生などを増やしていきます。

● 発達障がい（自閉症や学習障がいなどの脳機能の障がい）などで“読み”が困難な子どものための「\*デージー教科書」を無料で配布します。また、学校に入る前から仕事につくまでの間、サポートしていきます。

### 【\*デージー教科書】

マルチメディアデージー版教科書。ふつうの教科書と同じ文章と画像をデジタル化し、文字に音声をつけて読むことができるようにした教科書。

● 障がいのある子どもが受験しやすしたり、通いやすいよう学校の受け入れ体制を整えていきます。

● 通学路と学校の安全のために、見て回るスクールガードリーダー（警察を退職した人など）を増やしたり、安全の専門家にチェックしてもらい仕組みをしっかりと整えていきます。

### 「いかのおすし（犯罪にあわないための約束事）」

犯罪から、自分の身を守るための学習ができるようにします。

#### 【いかのおすし】

いか → 知らない人についていかない  
の → 他人の車にのらない  
お → おおごえを出す  
す → すぐ逃げる  
し → 何かあったらすぐ知らせる

● 地震に強い学校づくりを進めながら、建物が古くなって使えなくなる前に早めの修理をして維持費を節約します。さらに、和式トイレや古くなったトイレを改修したり、冷房を設置するなどして、子どもたちが安全・快適に学べる環境へ改善を進めます。

● すべての公立中学校で給食が出るようにします。また、アレルギーの子どもにも配慮した給食もできるところから始めています。

※国公立私立中学校における完全給食導入率：81.4%（2014年5月1日現在）

● 放課後や週末を子どもたちが過ごす「放課後子どもプラン」など、地域に協力してもらいながら学校生活を応援していきます。

● 太陽光パネルなどを置くための校舎のエコ改修や、学校にビオトープ（野生動植物が生息する空間）をつくるなどして環境にやさしい学校づくりを進め、学校のなかで環境を守る取り組みの大事さを学習できるようにします。



大きな未来へ、安心して質の高い教育のために

# 教育

みなさんが、豊かな心を育み、自分の将来に夢をもって進み、その夢をかなえられるように、学力を向上させるだけでなく、進学しやすい仕組みや制度を整えて、質の高い教育を受けられるようにしていきます。

● 少子化対策として、小学校に上がる前の3年間（幼稚園・保育所・認定こども園など）の教育費無料化をめざします。

● 公明党は小学校・中学校の義務教育での教科書を無料で使えるようにしたので、これを続けていきます。また同じく義務教育での、校外学習費（遠足や社会科見学などの費用）や学用品費、補助教材費なども無料にしていきます。

● 経済的な理由で高校や大学に進めないことがないように、返済をしなくてもいい給付型奨学金の制度をつくり、また、返済しやすい仕組みをつくっていきます。

● 一人ひとりの子どもに目が行き届く教育を進めるため、義務教育で35人以下の学級づくりをしていきます。

● 子どもが理科の学習に意欲がわくように、実験や観察の設備をそろえたり、学校以外から詳しい先生を招くなど楽しい理科の授業をめざします。

● 英会話を中心とした英語の授業を小学校低学年から取り入れるなどして、多くの子どもたちが大人になったら世界を舞台に活躍できるようにしていきます。

## 「おはしも（避難のきまり）」

地震や火事などが起きたときに、自分で自分を守れるような勉強や、お父さん・お母さんといっしょにおうちの防災を考えるような授業を受けられるようになります。

## 【おはしも】

- お →おさない  
は →はしらない  
し →しゃべらない  
も →もどらない

からだ こころ せいちょう しょくじゅうかん ちざんちしょう ちいき せいざん ちいき  
● 体や心の成長のために、食習慣や地産地消（地域で生産されたものをその地域  
しょうひ がくしゅう しょくいく ちから い  
で消費すること）などを学習する食育に力を入れていきます。

ゆた こころ はぐく しょうがくせい しゅうかんいじょう しぜんたいけん がくしゅう こ  
● 豊かな心を育むため、小学生に1週間以上の自然体験を学習する「子ども  
のうさんぎょそん と く  
農山漁村プロジェクト」などに取り組みます。

こ まな ば ゆた ぶん かげいじゆつ たいけんがくしゅう  
● 子どもの学びの場がより豊かになるよう、文化芸術などの体験学習をはじめ、  
しぜんたいけんじゆぎょう ふ  
スポーツやキャンプなどの自然体験授業などを増やします。

しごと まな ちゅうがくせい しゅうかんいじょう しょくぼたいけん ば  
● 仕事について学ぶために、中学生に1週間以上の職場体験の場をつくら  
こうこう だいがく しょくぎょうたいけんがくしゅう と い  
り、高校や大学でインターンシップ（職業体験学習）を取り入れていきます。

ねんきん いりょう かいご しゃかいほしょう よ  
● 年金・医療・介護など、「社会保障」と呼ばれるものにはいろいろあります。  
しゃかい ささ しゅく  
これは、社会のみんなの支えがなければできないものです。その仕組みをきちんと  
り かい まも しゃかいほしょう べんきょう  
理解して守っていけるよう、社会保障について勉強ができるようにします。

しょうがっこう ちゅうがっこう こうこう せんせい ひと こ たの  
● 小学校・中学校・高校の先生をめざす人たちが、子どもたちにとって頼もし  
せんせい だいがく べんきょう よ みなお  
い、いい先生になれるよう、大学などでの勉強をより良いものに見直していきま  
おな いま せんせいがた けんしゅう すす  
す。同じように、今いる先生方の研修も進めていきます。

こうこうせい だいがくせい りゅうがく おうえん りゅうがく ひょう えんじょ しょうがくきん ふ  
● 高校生や大学生の留学を応援するため、留学の費用を援助する奨学金を増やす  
おお にほんじん かいがいりゅうがくせい がいこく まな  
などして、多くの日本人が海外留学生として外国で学べるようにします。

せかい かつやく せんしゅ ゆめ あた  
● 世界で活躍するアスリート（スポーツ選手）は、みんなに夢を与えてくれま  
いぢりゅう せんしゅ う  
す。もっともっとそんなトップアスリート（一流のスポーツ選手）が生まれるよ  
おうえん  
う、応援していきます。

ねんとうきょう む せんしゅ せかい たたか  
● 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、選手が世界で戦ってい  
ちから こうじょう かいじょう せつび ととの たいかい せいこう  
くための力を向上させることや、会場などの設備を整えることなど、大会を成功  
じゅんび すす けんしょう せいしん  
させるための準備をどんどん進めていきます。また、オリンピック憲章の精神にの  
ぜんこくかくち ぶんかてき おこな  
って全国各地で文化的なイベントも行います。



しょう ひと みずか げいじゅつ かつどう おこな たの かんきょう  
● 障がいのある人も自らスポーツや芸術の活動を行い、楽しめるような環境づくりを進めます。



いつでもどこでも、安心の医療を受けられるように  
医療

みなさんが24時間いつでも安心して行ける病院を増やす努力や支援をするなどして、すべての子どもたちが健やかに成長していけるよう、小児医療も含めて医療の場をより良く変えていきます。

● 子どもの医療費を、今よりも安くします。

● 小児救急専門のお医者さんを育てたり、産科や小児科のお医者さんが不足している地域をなくしていくなど、小児・産科医療を手厚くしていきます。

● 休日や夜間の小児科の受け入れ体制を整え、いつでも安心して診てもらえるようにします。

● おたふくかぜ、B型肝炎など、健やかに成長していくために大切なワクチンの注射を定期的に受けられるようにします。

● 子どもから大人へと心や体が変わっていくときには、体の具合が悪くなったり、気持ちが落ち着かなくて悩んだりするものです。そんなとき、いろいろな相談ができたり、診察してもらえる「思春期外来」や相談所を、病院や保健所などにつくっていきます。

● 治すことが難しかったり、めずらしい病気だったりといった難病のための医療費を援助する仕組みがあります。いままでは56の病気（患者数約78万人）が対象でしたが、新しい法律で306の病気（同約150万人）に対象が増えました。これとあわせて、子どもの難病も同じように、514（同11万人）から704（同約15万人）へと大幅に増えました。さらに、病気の対象を広げ、よりききめのある治療法の研究や開発も進めています。

● 世界の先進国の中で、日本のお医者さんの数は実は少ない方です。もっとお医者さんを増やし、病院などで働く人たちの環境などをよくして、医療全体をよ

くしていきます。

● 日本人の2人に1人が“がん”になり、3人に1人が、“がん”で亡くなっています。がんについてしっかり理解できるよう、がん教育を進めます。

● アトピーや、国民病ともいわれる花粉症で、つらい思いをしている人がたくさんいます。公明党は、こういったアレルギーの病気に対する対策を進める法律をつくりました。少しでもつらい人が少なくなるようにしていきます。

● ケガや病気で傷ついたところを再生させて治す、「再生医療」という分野があります。たとえば、やけどで皮ふがなくなったところに人工の皮ふを移植して再生させたりするもので、これからいろんな病気に応用できるのではないかと、とても注目されています。この再生医療を世界と比べても早く安全に受けられるよう、研究を支援したり必要な審査を急いだり、専門家を育てるなどしていきます。

● 再生医療への効果が期待できる「\*iPS細胞」は、赤ちゃんとお母さんをつなぐ“へその緒”にある血液（さい帯血）を使うと効率よくつくれると言われています。またiPS細胞は、創薬（薬をつくる分野）にも期待が高まっており、さい帯血を使ったiPS細胞の研究が進むよう、応援していきます。

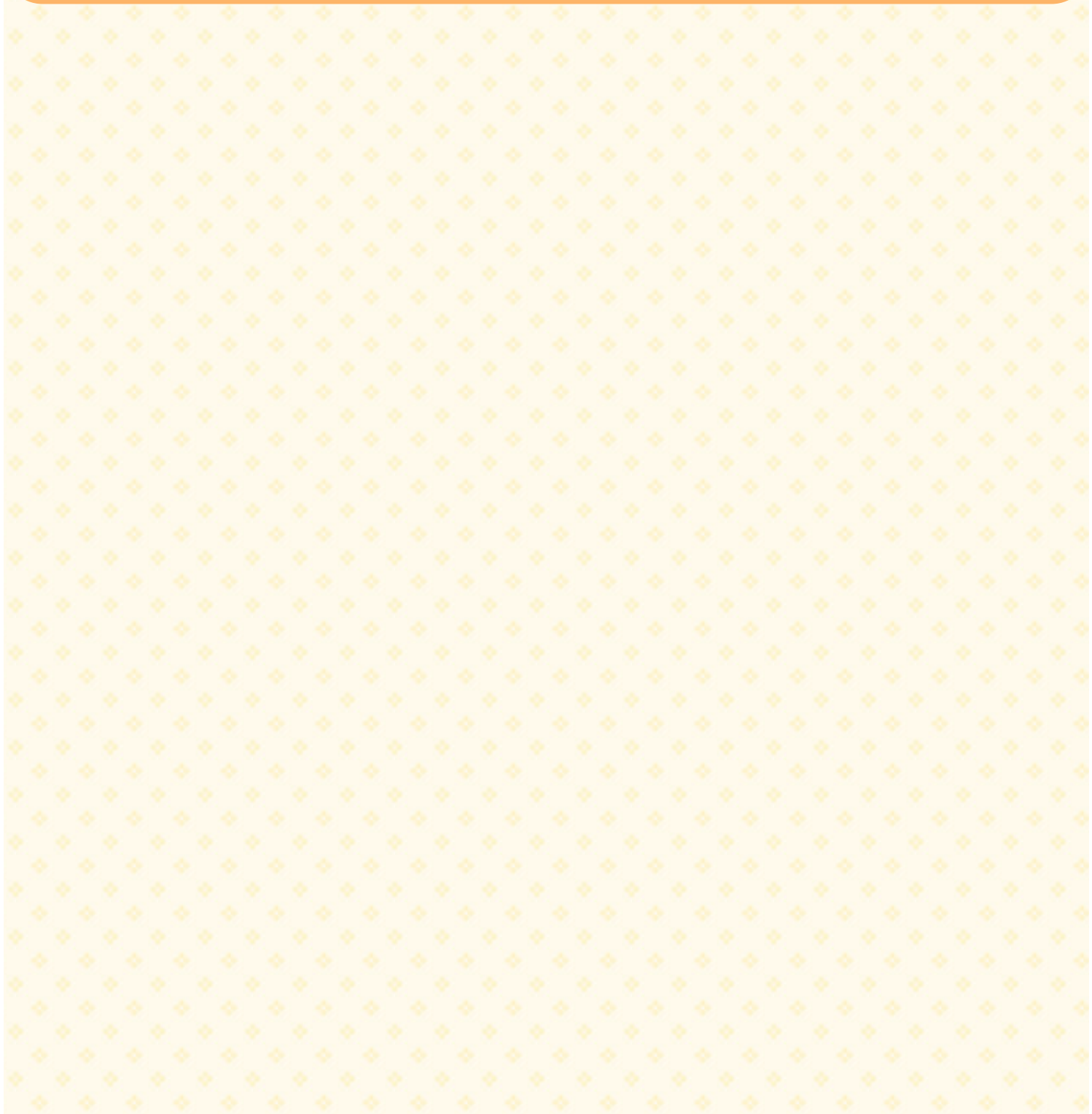
#### 【\*iPS細胞】

人間の体はたくさんの細胞（約60兆個）が集まってできている。iPS細胞は体のいろいろな部分の細胞に「変身」できて、たとえば神経や筋肉などいろいろな部分になることができる万能細胞とよばれている。

● 感染症の対策として、体内に侵入して悪さをするウイルスや病原体を退治するワクチンや薬の研究・開発を進めていきます。また、エボラ出血熱など、危険な伝染病の患者さんを治療できる特別な施設を、住民の皆さんの理解を得ながら整備していきます。



©KOMEITO



子どもを産みやすく、育てやすくするために  
出産・子育て支援

女の人<sup>おんな</sup>が赤ちゃん<sup>あか</sup>を産<sup>う</sup>んだり、育<sup>そだ</sup>てたりするのは大変<sup>だいへん</sup>なことです。そのため<sup>しごと</sup>に仕事<sup>しごと</sup>をやめたり、休<sup>やす</sup>んだりしなければなりません。赤ちゃん<sup>あか</sup>を育<sup>そだ</sup>てながら働<sup>はたら</sup>くのも大変<sup>たいへん</sup>です。そんなお母<sup>かあ</sup>さんが安心<sup>あんしん</sup>して赤ちゃん<sup>あか</sup>を産<sup>う</sup>み育<sup>そだ</sup>てられるように、いろいろ<sup>せいど</sup>な制度<sup>せいど</sup>で応援<sup>おうえん</sup>していきます。

● 赤ちゃん<sup>あか</sup>を産<sup>う</sup>むときには病院<sup>びょういん</sup>でたくさん<sup>かね</sup>のお金<sup>さん</sup>がかかります。お産<sup>さん</sup>や子育て<sup>こそだ</sup>を応援<sup>おうえん</sup>するために支払<sup>しはら</sup>われる「出産<sup>しゅっさん</sup>育児<sup>いくじ</sup>一時<sup>いちじ</sup>金<sup>きん</sup>」を42万円<sup>まんえん</sup>から50万円<sup>まんえん</sup>に増<sup>ふ</sup>やします。

● 赤ちゃん<sup>あか</sup>ができてから、そして生<sup>う</sup>まれた後<sup>あと</sup>も、お母<sup>かあ</sup>さんが体<sup>からだ</sup>の悩み<sup>なや</sup>や子育て<sup>こそだ</sup>の不安<sup>ふあん</sup>などを相談<sup>そうだん</sup>でき、支援<sup>しえん</sup>してくれる場所<sup>ばしょ</sup>を全国<sup>ぜんこく</sup>に作<sup>つく</sup>ります。

● 出産<sup>しゅっさん</sup>や子育て<sup>こそだ</sup>が一段落<sup>いちだんらく</sup>した女性<sup>じょせい</sup>が仕事<sup>しごと</sup>につけるよう、さらに制度<sup>せいど</sup>を整<sup>ととの</sup>えていきます。

● 子育て<sup>こそだ</sup>中<sup>ちゆう</sup>のお母<sup>かあ</sup>さんが働<sup>はたら</sup>きやすくなるよう、短時間<sup>たんじかん</sup>のお仕事<sup>しごと</sup>やテレワーク（情報<sup>じょうほう</sup>や通信<sup>つうしん</sup>に関する技術<sup>かん</sup>を活用<sup>ぎじゆつ</sup>した時間<sup>かつよう</sup>と場所<sup>じかん</sup>にしばられない柔軟<sup>ばしょ</sup>な働き方<sup>じゆうなん</sup>）などを広<sup>ひろ</sup>げていきます。

● 保育所<sup>ほいくじょ</sup>に入<sup>い</sup>れない子ども<sup>こ</sup>がいなくなるよう施設<sup>しせつ</sup>をたくさん<sup>つく</sup>作り、延長<sup>えんちよう</sup>保育<sup>ほいく</sup>や休日<sup>きゅうじつ</sup>保育<sup>ほいく</sup>、病児<sup>びょうじ</sup>保育<sup>ほいく</sup>などいろいろ<sup>ひろ</sup>な保育<sup>ほいく</sup>サービスを広<sup>ひろ</sup>げていきます。

● 子ども<sup>こ</sup>が病気<sup>びょうき</sup>になった時<sup>とき</sup>、看護<sup>かんご</sup>のためにお父<sup>とう</sup>さんお母<sup>かあ</sup>さんが仕事<sup>しごと</sup>を休<sup>やす</sup>むことができる制度<sup>せいど</sup>をもっと使<sup>つか</sup>いやすく変<sup>か</sup>えていきます。

● ひとり親<sup>おやかてい</sup>家庭<sup>せいかつ</sup>の生活<sup>ささ</sup>を支<sup>じりつ</sup>え、自立<sup>おうえん</sup>を応援<sup>しきゆう</sup>するために支給<sup>じどう</sup>される児童<sup>ふよう</sup>扶養<sup>あて</sup>手当<sup>て</sup>を増<sup>ふ</sup>やすなど、経済<sup>けいざい</sup>的に大変<sup>たいへん</sup>なご家庭<sup>かてい</sup>を支<sup>しえん</sup>援<sup>えん</sup>します。

● 子ども<sup>こ</sup>の将来<sup>しょうらい</sup>は生<sup>う</sup>まれ育<sup>そだ</sup>った環境<sup>かんきよう</sup>に左右<sup>さゆう</sup>されてはなりません。家庭<sup>かてい</sup>の経済<sup>けいざい</sup>的な

理由（親のリストラ、会社の倒産など）で、勉強やスポーツなどをしてほしいという  
気持ちをあきらめなくてもいい対策を進めていきます。子どもが健やかに育ってい  
けるよう、勉強したいという気持ちを大切にできるよう、お父さんお母さんの仕事  
を応援し、生活を援助する、などの対策を進めていきます。



だれもが、安心して暮らせる社会にするために

# 地域・社会・防災

子どもやお年寄り、障がいのある人にもやさしい社会にするためには、一つひとつの地域がもっと暮らしやすくなるのが大切だと、公明党は考えています。だから、それぞれの地域で、みなさんとともに暮らし、その地域の生活を自分たちの目で見つめ、防災や安全の問題、化学物質による健康の問題、児童虐待や薬物の問題、そして、被災地の復興の問題など、一つひとつを解決していきます。

● 熊本地震（2016年）や、東日本大震災（2011年）などで、おうちや道路、橋がこわれたり、会社や学校がなくなったりして、大変な思いをしている人がたくさんいます。そういう人たちが安心して暮らせるよう、少しでも将来のことに希望もてるよう、しっかりと寄り添いながら、心のケアや健康、生活の手助けをしています。地域ごとの復興の計画をはっきりさせて、まちづくりなどもどんどん早めていきます。

● 大きな地震や災害などで、仕事で使っていた機械や建物などがこわれたり、いろいろな被害を受けたりした農業や林業、漁業、観光業、会社などに対して、さまざまな手助けをしています。また、仕事を失った人たちのために働く場所をつくったり、仕事さがしなどの手助けをしています。

● いつ起こるかわからない大地震、水害、火山の噴火などの自然災害にそなえて、建物をつよくする、火事や津波にそなえるなど、役所や交通機関などの公的な仕事と止まってしまわないよう、いざというときの準備を進めます。

● 家庭や学校、地域で、自分で身を守ることやみんなで助け合うことなど、防災について学んだり協力し合えるようにします。

● 災害の時、子どもや障がい者・女性がつらい思いやがまんすることのない、避難所や避難体制をつくります（授乳場所、女性用品、アレルギー用食品などの確保や準備）。また、地域を守る防犯体制もととのえます。

● 役所、警察、学校、会社、住民など「社会全体で子どもを守る」という活動を広げ、虐待、非行、いじめ、性犯罪などを防いでいきます。

● 児童虐待の対策として児童相談所や市町村に専門家を増やし、子育てなどのアドバイスをしていきます。

● 学校施設などに太陽光発電システムを置いて自然エネルギー（再生可能エネルギー）を使えるようにしたり、LED電球や電気の「見える化（スマートメーターを広める）」を進めて、エネルギーを節約する省エネに取り組んだり、新しいエネルギーの使い方を考えていきます。

● 生活環境にある化学物質が、子どもの成長や発達にどのような影響を与えるかを調べる「エコチル調査」を進めていきます。この調査は10万組の親子を対象に、赤ちゃんがお母さんのお腹の中にいる時から13歳に成長するまで続けられます。エコチル調査の結果をもとに、子どもが健やかに成長できる環境、安心して子育てができる環境をつくっていきます。

● 子育て中の家族や、障がいのある人がいる家庭向けの住まいを整備します。

● 小学校・中学校の子どもたちに、自転車の安全運転など「交通安全教育」を進めていきます。

● ICT（インターネットを使った技術）やGPS（使う人の場所がわかる技術）を使って、離れていても子どもの居る場所がわかったり、防災情報を流したりするなどして、安全で安心な暮らしができる社会をつくっていきます。

● 携帯電話を今よりも安く使いやすいものにしていくため、例えば公衆無線LAN（まちなかで、誰でもインターネットに接続することができるサービス）が使える場所を増やすなど、電話やインターネットなどを使う環境がもっと便利になるように整備していきます。

● 快適でムダが無く、便利な未来をつくるため、AI（人間が知能を使って行う活動をコンピューターに代わりにさせる技術）や、IoT（機械、道具などのあらゆるモノをインターネットでつなぎ、それによって得られた情報から新たなサービスや製品を生み出す技術）の研究開発を進めます。

● 体に良くない薬物を使うことを防ぐために、講習会を開いたり、「薬物乱用防止キャラバンカー」を走らせて、薬物のこわさを知ってもらうなどの活動を進め



ていきます。

● さまざまな事件をおこしている「危険ドラッグ」を制限する法律を強化しました。その結果、危険ドラッグを売る店はゼロになりました。さらに、インターネット販売に対する取り締まりに力を入れます。

● スポーツを見たり、したりする機会を増やしていきます。そのために、放課後や休日の学校開放や、スポーツができる公園を増やしていきます。

● ペットは、私たちの生活を豊かにし、時には家族と同じように、かけがえのない存在となります。そんなペットたちが捨てられないような仕組みを整えて、人と動物が共生する優しさあふれる社会をつくり、殺処分ゼロをめざします。



毎日の暮らしが、楽しく、快適になるように  
仕事・経済

みなさんの暮らしがより良くなるためには、一つひとつの家庭の収入が安定することが大切です。そのためには日本の経済全体がもっと活発にならなければなりません。公明党は、女性や若い人をはじめ、あらゆる人たちが仕事を心得、働き続けるための支援をしたり、消費税が、正しい考え方のもとで使われる計画を立てて、より良い暮らしが実現することをめざしていきます。

● 消費税10%への引き上げは延期し、2019年10月から実施します。引き上げと同時に、負担が重くなり過ぎないように、お酒や外食以外、すべての食料品などの税率を低くする「軽減税率」は、公明党の主張で導入されることが決まっています。

● お給料が増えて、みんながもっと買い物をするようになれば、ものを売っているお店やつくっている会社が豊かになり、そこで働く人のお給料も増えて、日本の経済はよくなっていきます。そのような経済の成長が続くように、一家庭あたりのお給料が増えるようにしていきます。

● 医療・介護・子育てといった福祉を充実させるため、経済の発展が必要です。日本の人口が減って経済が縮小していきと言われていますが、新しい研究や開発を進める、働き口をつくるといったことで、経済を成長させていきます。

● 同一労働同一賃金（同じ仕事には同じお給料を支払うという原則）の実現や、1時間あたりのお給料を全国平均で1000円以上にアップさせるなど、お給料が増えるように取り組みます。

● 働くお父さんやお母さんの負担を減らし、もっと家族と過ごす時間などが増えるよう、今よりも働く時間を短くしたり、休みを取りやすくします。また、転職しなくてもよいとか、1週間に何時間働けばよいとか、いろいろな働き方が選べる社会をめざします。

● 厳しい働き方によって、健康や命に危険が及ぶようなことは許されません。そのような仕事をさせるブラック企業とブラックバイトがなくなるよう、対策を進めます。

● 「保育や介護にかかわる仕事がしたい」という人を応援するため、保育士さんや介護のために働く人のお給料を引き上げるなど、もっと働きやすい環境をつくれます。そして、保育や介護のために働く人を増やします。

● TPP協定（日本やアメリカなど太平洋を取り巻く国々による新しい貿易のルール）により、日本から海外への輸出を増やすなど貿易を活発にし、日本やアジア太平洋地域を豊かにしていきます。

● 日本の会社の9割は規模の小さい中小企業です。日本経済の成長を支えている中小企業が元気になるように応援します。

● 女性や若い人が自分で新しい仕事をつくり出せるよう、きっかけづくりや、先輩たちの話を聞く場をつくるなどして、応援していきます。

● 人工知能や、自動車が自動で走る技術、ロボットなど、未来の経済や社会を大きく変えるような科学技術の研究開発を進め、新しいビジネスへのチャレンジを応援します。

● 災害を防ぐための宇宙衛星など、宇宙の開発を進めます。また、メタンハイドレートなど海底にある新しいエネルギー資源の開発を進めます。

● 美味しく安全な日本の食べ物や和食は、海外でとても人気があります。魅力ある地域の特産品を海外の人に知ってもらい、輸出を応援することで、農林水産業を元気にし、さらに魅力ある仕事にしていきます。

● 日本では一年間に約632万トン（日本で食べられる食品のうち約8%もの量）の食品が、まだ食べられるのに捨てられています。「食品ロス」と呼ばれる、この食品のムダを減らすために、国や地域で目標や計画をつくるなど、取り組みを強化します。

● アニメやゲーム、ファッションや食べ物など、「魅力にあふれた日本＝クールジャパン」を海外に広め、日本への観光客も増やします。

● 文化や芸術の分野で働く人が増えるよう援助するなど、日本の文化や芸術を

げんき  
元気にしていきます。

● 2020年、東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。スポーツを通じて、みんなが健康になれるような「スポーツ立国・日本」をつくります。



あ ん し ん げん き み り ょ く  
さ さ あ ち へ  
支え合っ、安心な、元気で魅力ある地域へ

## ち ほう そう せい 地方創生

にっ ぽん じん ぐう へ  
日本の人口はだんだん減っていますが、この先も「活気ある温かな地域」を守るため  
ち ほう ほう せい ぜん り ょ く そ そ に ほん じ ゅ う い わ か ひ と と し ょ  
「地方創生」に全力を注いでいきます。日本中どこに行っても、若い人からお年寄りま  
さ さ あ げん き あん し ん く ち い き  
で支え合い、元気に安心していきいきと暮らしている、そんな地域づくりをめざしま  
す。

● いまの日本は東京や大阪といった大きな都市に、仕事も役所も大きな施設も  
しゅう ちゅう せい じゅう ちゅう せい せ ん り ょ く そ そ に ほん じ ゅ う い わ か ひ と と し ょ  
集まっています。でも、「生まれ育った町で働きたい」「自然が豊かなところで  
こ そ だ はたら とし あたら ばし ょ あたら  
子育てしながら働きたい」「年をとってからは新しい場所で新しいことをしたい」  
ち ほう ほう せい ぜん り ょ く そ そ に ほん じ ゅ う い わ か ひ と と し ょ  
という希望を持つ人もいます。いろいろな人の要望にこたえられるように、たとえ  
ば、都市から地方に移り住む人たちを応援する制度などを整え、日本中を活気ある  
くに  
国にしていきます。

● 高齢になっても安心して暮らせるよう、住宅や病院や介護など暮らしのさまざま  
こう れい あん し ん く じゅう たく びょう いん かい こ く  
まなサービスを、お年寄りが住む地域ですべて受けられる仕組みづくり（地域包括  
しゅう ちゅう せい じゅう ちゅう せい せ ん り ょ く そ そ に ほん じ ゅ う い わ か ひ と と し ょ  
ケアシステム）を進めます。また、認知症かもしれないお年寄りやその家族に寄  
そ にん ちし ょう こう ざ おこな かてい ほうもん ひと ふ  
り添うため、認知症サポーター講座を行ったり、家庭訪問をする人を増やすな  
ど、地域全体でお年寄りの暮らしを支えています。

● 病院や商店街など暮らしに必要な場所には、人が集まります。地域が元気でい  
びょう いん しょう たいん がい く ひつ しょう ばし ょ ひと あつ ち い き げん き  
るために、そういった施設があるところを上手にいかしながらコンパクト（小さく  
し せつ しゅう じょう ちい  
まとまった）なまちづくりをしていきます。そういう場所に行きやすいよう、バス  
ち い き ぜん たい とし ょ く さ さ  
などの交通機関も整えます。

● お店が減ってしまっていて買物が大変な人たち向けの仕事を始める人には資金を助  
み せ へ かい もの たい へん ひと む し ごと はじ ひと し きん たす  
けるなどして、困っている人を少なくし、暮らしやすい地域をつくりま

● 日本には、いろいろな地域にまだ知られていない農林水産物、観光地、伝統的  
にっ ぽん ち い き し のう りん すい さん ぶつ かん こう ち でん とう てき  
な品や文化といったものがたくさん眠っています。そういうものを知らない人たち  
し な ぶん か ねむ し ひと  
に「いいな！」と思ってもらえるように工夫して、都市部や外国に紹介した

り、売ったりして、地域が元気で豊かになるよう応援していきます。

● コンクリートの建物の寿命は、50年とされています。日本のたくさんのビルや道路・橋などがどんどん弱くなっています。自然災害の多い日本では、人の命に関わる大変な問題です。また壊れてから建て直すのでは、たくさんのお金がかかります。だから、壊れる前に危険なところを修理して少ないお金ですらに建物の寿命を延ばし、将来に向けてメンテナンスにも力を入れていきます。

● 地域の子どもたちやお年寄りが元気に安心して暮らせるようにと、さまざまな「\*NPO」ができています。そうしたNPOがもっと増えるよう、また大きくなるよう、専門的なサポートが受けられるようにしたり資金を助けたりして、地域全体を元気にしていきます。

### 【\*NPO】

非営利団体。民間で、みんなのために働いて、お金もうけを目的としない団体のこと。



# 日本が元気になるために、その他にも大事なこと 外交・その他

日本がより良い国になるためには、外国との友好的な関係がとても大切です。公明党は、“人間の安全”を守るための外交を進めていきます。その他にも原子力発電に頼らないエネルギー社会をつくる、若い人たちの意見を政治に取り入れるなど、日本がもっと住みやすく元気な国になるように、さまざまなことを変えていきます。

● 世界平和のために積極的に行動するのが公明党です（行動する国際平和主義）。国の領土をめぐる問題の解決や、「\*核軍縮」や「\*人間の安全保障」のための平和外交を進めていきます。

## 【\*核軍縮】

第二次世界大戦の時に広島と長崎に落とされた原子爆弾などのように、人間の命を瞬時に大量に奪う核兵器と、それを使う国を減らし、無くしていくための取り組み。

## 【\*人間の安全保障】

世界中の難しい問題の解決のために、人間の安全を最優先に考えながら取り組んでいくこと。

● 去年の12月、世界196カ国・地域の人達がフランスのパリに集まって、世界中の自然や暮らしに影響を与えている地球温暖化をくい止めるために、みんなで力を合わせていくことを約束しました（パリ協定）。この約束を果たすために、国民一人ひとりが環境にやさしい暮らしや行動を選択できるような社会をつくりまします。

● 東日本大震災のとき福島原子力発電所で事故が起こり、福島の人は今も家に帰ることができずに避難生活を送っています。二度とこうした事故を起こさないために、公明党は、時間がかかっても省エネ再エネで原子力に代わる新しいエネルギーをつくって、出来るだけ早く原子力発電を使わなくていい社会をつくっていきます。また、原子力発電所を使う間は絶対に事故が起きないように厳しく安全管理

をしていきます。

● 福島でまた元気に暮らすことができるようになるには、除染（放射能を取り除くこと）や賠償など、まだまだたくさん問題があります。それらをひとつずつ解決し、将来、福島が「再生可能エネルギーの世界的に進んだ場所」として生まれ変わるよう取り組んでいきます。

● 今回の参議院選挙から初めて「18歳以上」の人が投票することができるようになりました。若い人たちの意見をもっと政治に取り入れやすくするために、選挙に立候補してみんなの代表に選ばれる権利（被選挙権）の年齢の引き下げをめざします。

● 若い人たちの声を反映した政策や法律をつくるため、政府に若者政策を担当する大臣やチームを設置したり、全国各地で若い人たちの目線や意見を生かしたまちづくりが進むよう、地域の若い人たちが中心になって開く「若者議会」の開催を応援します。

